

感染症 ひとくち情報

新型コロナウイルス関連肺炎について



2020年1月23日
東京都健康安全研究センター

1. 新型コロナウイルスについて

中華人民共和国湖北省武漢市等で新型のコロナウイルス（2019 - nCoV）に関連した肺炎の発生が報告されています。発病すると、発熱、咳などの呼吸器症状等の症状が出現し、高齢者や基礎疾患のある方は重症化する場合もあると言われています。

感染経路や潜伏期間は調査中ですが、世界保健機関（WHO）によると武漢市で発生した患者の多くは海鮮や生きた動物を売る市場と関連があり、そこで感染した可能性があると考えられています。また、家族間等の限定的な人から人への感染の可能性が否定できない事例も報告されています。

2. 発生状況

2020年1月22日12:00時点の厚生労働省のまとめによると、中華人民共和国で4百人を超える感染者が報告されています。また、中華人民共和国以外でも、タイ、日本、韓国、台湾、米国で、中華人民共和国武漢市に滞在歴のある感染者が報告がされています。

3. 動物に注意しましょう

流行地域ではペットとして飼育されている場合でも、動物にむやみに触れるのはやめましょう。また、動物に咬まれないことや糞尿に触れたりしないように注意し、誤って触れた場合は、流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。特に、野生動物を扱うような場所への不要不急の訪問は避け、動物の死体に近づかないことが大切です。

4. 対策のポイントについて

流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目等に触る前には手洗いを徹底しましょう。

また、咳をする場合には口や鼻をティッシュで覆う等の咳エチケットを守り、周りの人への感染を予防するため、サージカルマスクを着用し、人が多く集まる場所は避けましょう。



5. 武漢市滞在後に症状が出現した場合には

武漢市から帰国・入国後、発熱や咳、くしゃみなどの呼吸器症状がある場合には、出勤や通学を控え、サージカルマスクを着用し、事前に医療機関に連絡のうえで、速やかに医療機関を受診してください。受診にあたっては、武漢市の滞在歴があることを事前に申し出てください。

